

太田 吉浩議員



村長 3 期目の進退は

Q

3 期目を目指す結論に達した

A

太田議員

今回は 1 期目最後の定例議会であり、本日は最後の一般質問である。

①まずは長野村政 2 期目の総括、選挙時に示した公約の達成具合を尋ねたい。この 4 年間で光ブロードバンドの基盤整備、中学校・庁舎の統合事業に道筋が

ついた事はプラス遺産だ。しかし、村長自身が起こした農地無断転用問題は、村民からの信頼を失う事態となり

事態に逃げる事は出来ないし、行政の停滞があつてはならないというのが 3 選出馬の決意をさせた。

②無断転用問題が発覚した後、これまでの経過と今後の対応、現在の心境を問いたい。

②長野集落には大変な迷惑をかけている。公的な責任は減給をした。私的の道義的な責任は、精一杯出来るだけの事はしていききたい。しかし、公職にある間は寄付行為にあたり公選法に違反する。長野集落には待つて頂かなければ仕方がない。私の認識不足から起きた事には責任を感じているが、村内全体を見れば同じような事実は多くあつたようだ。長野集落も自分達で責任をとればいいと返還に応じた。

議会同様、長野村長も来年 3 月 5 日には任期満了を迎える。③ 3 期目の進退はどう考えているのか。

3 つの質問を頂いたが、私は逆から答弁したい。

村長

3 期目を目指す結論に達した。昨年 3 月には体調を壊し入院もした。

9 月定例議会ごろには表明すべきかと考えたが、もう少し体調を見極めて決定したいところまで延びてしまった。一番の動機は震災の復興をどうやっていくのか。そして、この非常

③色んな事を悩んだが、3 期目を目指す結論に達した。昨年 3 月には体調を壊し入院もした。9 月定例議会ごろには表明すべきかと考えたが、もう少し体調を見極めて決定したいところまで延びてしまった。一番の動機は震災の復興をどうやっていくのか。そして、この非常

① 2 期目のマニフェストには 7 つの重点課題

2 期目のマニフェスト	→ 4 年間の取り組みと成果 (村長答弁からの抜粋)
①災害に強い村づくり	九州北部豪雨からの復旧、消防団の組織力・装備の強化
②基幹産業の活性化	有機農業、6 次化の推進、モンベル・ハイコムウォーターの誘致
③人を大切にする村づくり	医療費の無料化を高校生まで引き上げる
④光ブロードバンドの整備	基盤整備事業が完了、観光スポットでの無料 Wi-Fi 設置
⑤教育環境の整備	長陽地区 3 保育園・村内 3 中学校の統合、給食費の半額助成
⑥自然との共生	世界農業遺産の登録
⑦行政サービスの向上	3 庁舎の統合に道筋 (平成 29 年 2 月末には竣工)

を挙げて、この 4 年間取り組んできた(上の表を参照)。

太田議員

2 期目 4 年間の実績としては、私も仕事が出来ていると思う。震災対応の途中で投げ出す訳にはいかないと、う気持ちも理解できる。しかし誰が村長になっても、復旧復興はやらねばならない最重要課題だ。それ以外で、3 期目に賭ける想いや目的は何なのか。

村長

3 期目への想いはまだ整理している状況だが、今は何としても復旧復興、被災した村民の生活再建をどうしていくかが頭から離れない。しかし考えると復旧復興も大事だが、それだけでは村は遅れてしまいかねな

い。将来に向けての投資もやっていかねばならない。誰がなつても大変だが、経験のない方は、なお大変だ。ここで自分が逃げる訳にはいかないという想いで 3 期目に挑みたい。

太田議員

震災後、残念ながら村民の心が一つになつていない。村長には村のリーダーとして反省していただきたい。そして村民との信頼関係を再び結び直す努力を重ねていただきたいと最後に強く要望する。



4 月開庁予定の統合庁舎